

平成26年 松本地方事務所 おもなできごと

月	おもなできごと	コメント	担当課
2月	松本地域北部3か村の魅力発信番組の作成	松本地域の5か村の魅力発信のため、各村の協力により情報番組を作成し、2月及び8月に管内のコミュニティ放送局で放送するとともに、当所ホームページからも聴取できるようになりました。	地域政策課
2月	大雪の発生	2月8、9日及び14～16日の大雪により、農業施設2,374棟の倒壊など総額10億8千万円余の被害が発生しました。このため、「農作物等の災害緊急対策」、「被害農業者の経営安定対策」、「残雪対策」を体系的に実施しハウスの復旧等を支援しました。	農政課
2月	ソニーがパソコン事業を投資ファンドに売却することを発表	ソニーがパソコン事業を投資ファンドに売却すると発表。7月に安曇野市の「長野テクノロジーサイト」を製造拠点とした新会社「VAIO」を設立。社員数を約240人に縮小し、大幅な人員削減が行われたため、安曇野市やハローワーク等と協力して「緊急雇用対策推進会議」を開催し、離職者の再就職支援を実施しました。	商工観光課
3月	集落「再熱」、実施モデル地区支援	松本管内で採択された2地区（麻績村市野川地区、生坂村大日向地区）が現地機関支援チームによる助言等の支援を受けて策定したビジョンが、「集落「再熱」、実施モデル地区連携支援会議」において各村から発表されました。	地域政策課
3月	塩尻市高ボッチ高原 3大標高展望広場が「信州ふるさとの見える丘」として知事の認定を受ける	「信州らしさ」や「ふるさと」を感じる風景を一望できる場所として塩尻市が整備しました。今後の活用が期待されます。	建築課
4月	「しあわせ信州創造プラン」松本地域編及び「松本地域ビジョン」の2年目がスタート	平成25年度にスタートした「しあわせ信州創造プラン」松本地域編と「松本地域ビジョン」は、今年度で2年目となりました。市村と連携や情報共有を図りながら、目標達成に向けて取り組んでいきます。	全所
6月	県税収入が4年ぶり300億円超え	平成25年度松本地方事務所の県税収入は、主に法人二税が増加したことにより前年度に比べ20億5,147万円（7.3%）増の300億621万円となりました。徴収率は、前年度に比べ0.4ポイント増加し97.0%になりました。	税務課
6月	松本合同庁舎に「トレッキング部」が発足	「信州山の日」の制定を契機に、松本合同庁舎職員約50名で構成するトレッキング部を発足させ、11月までに管内の山を中心に9回の清掃登山を実施しました。	商工観光課
7月	県営かんがい排水事業（朝日地区 太陽光発電）竣工式を開催	平成24年度に着手した、太陽光パネルを調整池に設置し、売電により電気代などの農家負担を軽減するための事業が完成し、竣工式が行われました。	農地整備課
7月	「ふるさと信州風景百選」に松本地域から12箇所選定	「ふるさと信州風景百選」の応募写真の県の最終審査が行われ、松本地域から12箇所（全県で103箇所）の風景箇所が選定されました。	建築課
8月	長野県知事選挙	8月10日執行の長野県知事選挙に際し、「投票呼びかけ隊」を結成し、松本蟻ヶ崎高校書道部の皆さんの協力で「期日前投票」を前面に出したのぼり旗や超大型掲幕、オリジナルポケットティッシュを制作し、学生ボランティアの参加を得ながら松本駅前や松本市街地をはじめ、大型店舗等での街頭啓発を実施しました。	地域政策課
8月	「自然に親しむ親子登山in乗鞍岳」の開催	「信州山の日」制定の関連事業として、乗鞍岳の豊かな自然に親しみ、貴重な自然環境の保護への関心を高めることを目的に、親子を対象とした登山を開催しました。	環境課
8月	信州登山案内人と登る親子登山in乗鞍岳を実施	「信州山の日」の制定を契機に、親子が山に親しむ機会を提供するとともに、「信州登山案内人」のPRと、制度の普及を図るため、「信州登山案内人と登る親子登山in乗鞍岳」を実施しました。	商工観光課

月	おもなできごと	コメント	担当課
9月	地方事務所長からの施策提案	地域で重点的に取り組む施策等を地方事務所長から提案する制度を活用し、松本地域からは「情報発信力向上のためのコミュニティ放送の活用」及び「農業用水路を利用した小水力発電支援事業」の2つを提案しました。	地域政策課
10月	「地域発 元気づくり支援金」優良事例表彰及び活用事例発表会の開催	平成25年度実施事業のうち、牛伏鉢伏友の会に知事表彰を、麻績村以下5団体に地方事務所長表彰を授与するとともに、各団体から活用事例発表を行いました。	地域政策課
10月	「塩尻星の会」(塩尻市)が「星空の街・あおぞらの街」全国協議会会長賞を受賞	平成12年の会の設立以来、学校や地域において星空観察会を主催するほか、平成15年より光害調査を継続して実施するなど、大気環境保全の普及啓発に優れた活動をしたとして、「塩尻星の会」が表彰されました。	環境課
10月	第29回松本地区育樹祭の開催	麻績村聖湖周辺において、一般参加者、林業関係者など300人が除間伐などの育樹作業を行い、地域の森林を保全する機運を高めました。式典では麻績小学校みどりの少年団が全国植樹祭に向けた苗木のスクールステイ、合唱を行い花を添えました。午後には、信州山の日制定を記念して森林教室、三峯山登山、長野市善光寺街道ウォーキングを楽しみました。	林務課
11月	篠ノ井線松本地域活性化協議会が設立	北陸新幹線の金沢延伸や善光寺御開帳等を見据え、篠ノ井線の利用促進を図り、松本地域の活性化を推進するために同協議会が設立され、管内市村及び関係団体と連携しながら取り組むこととなりました。「地域発 元気づくり支援金」でPR・情報発信事業を支援しています。	地域政策課
11月	県営畑地帯総合整備事業(岩垂原地区)竣工式を開催	平成13年度から35億円余の事業費を投じた畑地かんがい施設の更新、補修及び農道整備などの事業が完了し、竣工式が執り行われました。	農地整備課
11月	国営中信平二期農業水利事業完工式を開催	平成17年度から163億円余の事業費を投じた水利施設の更新、補修及び農業用水を利用した小水力発電所の建設事業などの完工式が執り行われました。	農地整備課
11月	信州F・POWERプロジェクトの施設整備が進む	信州F・POWERプロジェクトの製材加工施設の建屋、貯木場の整備が進み、来年度からの稼働に向けて、11月から原木の集荷が開始されました。	林務課
9月～12月	過去最高のツキノワグマの大量出沒	平成22年度の685件を上回り、過去最高となる764件の出沒が確認されました。そのうち、集落内で確認された件数は、58%を占めており、生活圏に近いところでの行動が見られ、残念ながら人身被害も発生しました。	林務課
通年	「おいしい信州ふーど(風土)」松本地域活動協議会の活動	「地域発 元気づくり支援金」を活用し、松本地域の農畜水産物の消費拡大を推進しました。 ① 7宿泊施設で、信州プレミアム牛肉・信州黄金シャモ・信州サーモンを素材とした夕食プランを開発し、2月から3月にかけて県内外の966名のお客様に提供 ② 安曇野地域の摘果りんごを清酒に漬け込んだ「大人の林檎りキュール」を開発し、11月から550本を販売 ③ 松本市内の直売所と調布市内の流通業者店舗にタブレットを設置し、画面で商品を確認しながら買い物ができる仕組みを開発し、9月から12月まで運用 ④ すべての食材を安曇野市内産に限定した「あづみの華御膳」を開発し、12月から1,000食限定で販売開始	農政課
通年	森林(もり)の里親契約締結	管内各地で企業と地域の連携による森林整備活動が進み、5月には八十二銀行が松本市本郷財産区と県下100件目の契約を締結しました。 7月にはミサワホーム(株)と松本市が9月には生活協同組合コープながのとNPO法人森倶楽部21が契約を締結するなどして、管内の里親契約が18件となりました。	林務課
通年	善光寺街道開設400年記念行事が開催	塩尻市洗馬から長野市善光寺を結んだ善光寺街道の開設400周年の節目に合わせ、管内市村で「皇女和宮御下向行列」、「青柳宿青柳城址記念登山」、「麻績宿お宝展示会」などの関連記念イベントが開催されました。	商工観光課